

2024 夏のボランティアチャレンジ 実施報告書

令和6年11月
社会福祉法人 堺市社会福祉協議会
ボランティア情報センター

本報告について

参加者申込情報／参加者、受入団体・施設へのアンケートをもとに作成

アンケートの概要

【対 象】夏のボランティアチャレンジ参加者、受入施設・団体

【回答期間】体験終了後～10月27日

【回答方法】当会 Web サイト（一部の団体のみ TEL）

【回 答 数】参加者：9人、施設・団体：25件

※参加者総数23人、施設・団体総数27件

※回答結果の表記：小数点以下は全て四捨五入

目次

1. 参加者 P.3～4
 - 1) 参加者情報
 - 2) 参加申込み理由

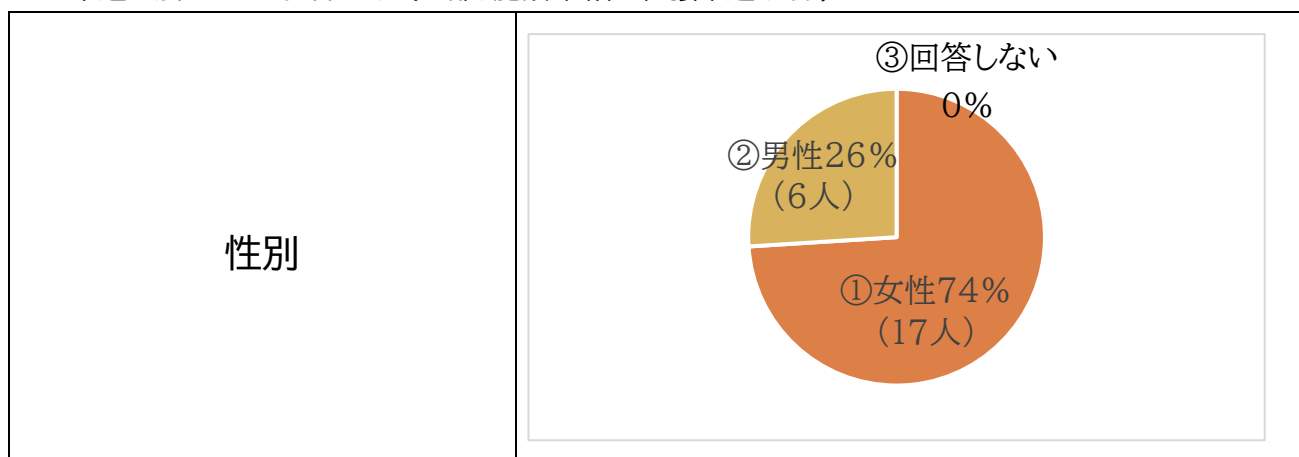
2. チャレンジ受入施設・団体 P.4～5
 - 1) チャレンジ受入施設・団体への参加状況
 - 2) 協力した理由
 - 3) 受入調整について
 - 4) 疑問点・大変だったこと

3. 満足度 P.6～7
 - 1) 参加者の感想・意見
 - 2) 参加者 今後の活動について
 - 3) チャレンジ受入施設・団体の感想・意見
 - 4) チャレンジ受入施設・団体 今後のご協力について

1. 参加者

1) 参加者情報 (23人)

※申込方法は Web サイトのみ (一部、施設・団体へ直接申込みあり)



全体の 74%が女性の参加であった。R5 年度・コロナ禍以前と同様の男女比率である。

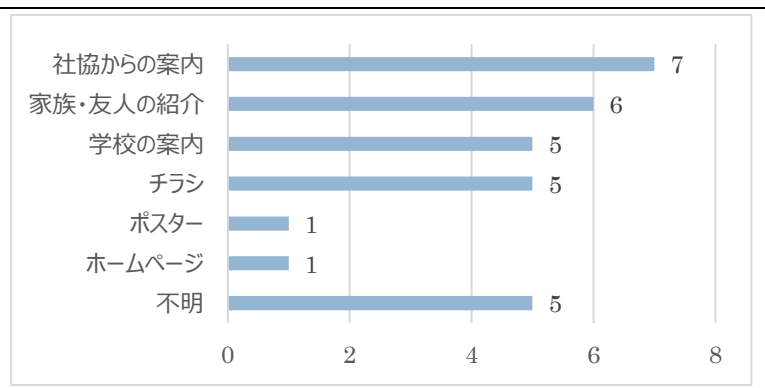
		参加者数
属性(※1) ・ 参加対象を高校生年齢以上に限定 (コロナ禍前は小中学生も対象)。	高校生	8人(35%)
	専門学校生	5人(22%)
	大学生	5人(22%)
	社会人	5人(22%)
所在	堺区	0人
	中区	3人
	東区	4人
	西区	3人
	南区	0人
	北区	3人
	美原区	5人
	他市・他県	5人(※2)

※1 全体の 79%が学生で、R5 年度に比べ学校からの課題による学生の割合が減少している。

※2 他市・他県は、高石市 2 人、貝塚市 1 人、阪南市 1 人、奈良県 1 人

知ったきっかけ

(複数回答有)



「社協からの案内」が最も多かった。

2) 参加者の申込み理由 原文まま ※一部抜粋

看護専門学校生

- ・学校の課題でボランティア活動をする事になり、調べていたところソルトペインティングが可愛くて是非手伝えたいと思いました。様々な年代の方と話す機会が少なく、お手伝い中にお話も出来たら嬉しいです。
- ・学校の課題でボランティア活動をする事になり、様々な人との関わりをもっと大切にしようと思ったのとコミュニケーション能力を身につけたく申し込みさせて頂きました。

高校生・大学生

- ・将来教員になるにあたって、子どもと関わるボランティアをしてみたかったから。
- ・元々ボランティアに興味があり市役所へ行ったところ今回の施設を見つけ、夏休みに子供達と思い出を作りたいと思い応募しました。
- ・小さなお子さんと話したり、絵を描いたりすることで、一緒に楽しむことができるからです。
- ・祖母が別の老人ホームに入居しており何となく雰囲気があるので、何かお手伝い出来るかもと思い申し込しました。
- ・ボランティアの経験を自分の成長に活かしたいからです。
- ・学習塾でアルバイトをしているため少しでも役に立てることがあれば良いと考えました。

2. チャレンジ受入施設・団体

1) チャレンジ受入施設・団体への参加状況

活動分野	施設・団体数	(施設・団体件数)	
		参加者あり (参加者数)	参加者なし
高齢者 (入所・通所施設)	5	2 (3人)	3
障害者・児 (入所・通所施設)	8	0 (0人)	8
児童 (子ども食堂/絵本/人形劇)	13	7 (12人)	6
地域 (夏祭り/地域の集い)	5	2 (8人)	3
計	31	11 (23人)	20

参加者の受入が集中したのは子ども食堂、次いで地域での夏祭りやふれあい喫茶となっている。

※施設・団体別プログラム受入結果については別紙参考資料のとおり

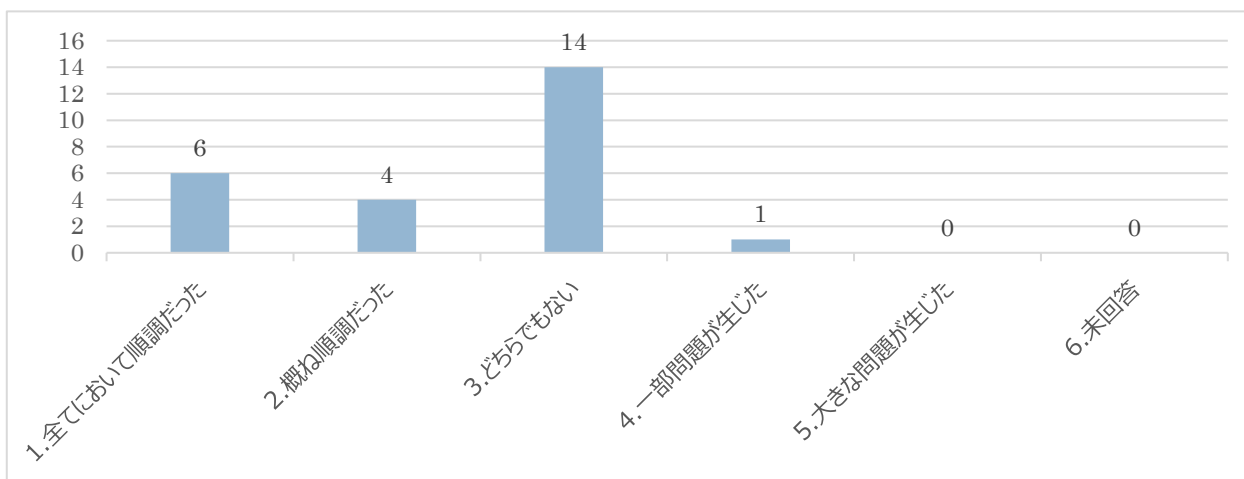
2) 協力した理由（複数回答有）

利用者にとって新しい出会いの機会になると思ったから	14(56%)
施設・団体のボランティアやメンバーを増やしたいと思ったから	14(56%)
過去に協力をしたことがあるから	13(52%)
施設・団体のことを市民の方に知ってほしかったから	9(36%)
スタッフにとって新しい発見に繋がると思ったから	9(36%)
活動における人数が足りなかったから	8(32%)
自分たちが取り組んでいる社会問題を市民の方に知ってほしかったから	6(24%)
その他	2(8%)

【その他の意見】

- ・私自身が、夏のボランティア体験での体験がキッカケで当ボランティア団体に入会したから。
- ・昨年来てくれた大学生が良かったから。

3) 受け入れ調整について



「全てにおいて順調だった」「概ね順調だった」は参加者受け入れのあった施設・団体の 80%であった。

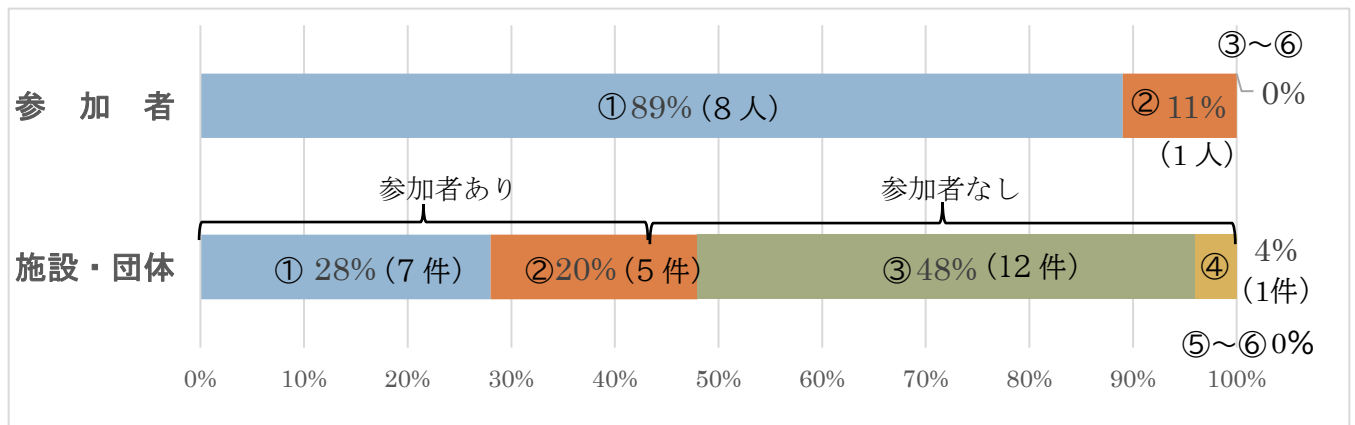
「どちらともいえない」の理由は 13 件が「参加者受け入れがなかったため」、1 件は無回答。

「一部問題が生じた」の理由は「学生さんから返事がなく、連絡を取るのに時間がかかり、直接電話して解決した。」ため。

4) 疑問点・大変だったこと（原文まま）※一部抜粋

- ・各所への PR
- ・大変さはありませんでしたが、2 人ともボランティア活動が初めてだったので、少しでも安心してボランティアに来てもらえるよう、事前にお電話をしたり、当日も様子を見守りながら声かけをするなど心がけました。
- ・残念ながら体験者希望がありませんでした。昼食だけではなく、交通費支給も必須なのかなど、来年の条件をスタッフで相談したいと思っています。
- ・以前は社協でかなり段取りいただいていたので受け入れだったので安心でしたが、今回は受け入れ側の精神的な負担が大きかったです。
- ・ボランティアの子供達がすぐにうちとけるのが大変だったのではと思う。

3. 満足度



①とてもよかった ②よかった ③どちらでもない ④あまりよくなかった ⑤よくなかった ⑥未回答

全ての参加者が参加して「とてもよかった」、「よかった」と回答。

参加者受け入れのあった施設・団体も全て協力して「とてもよかった」、「よかった」と回答。

受け入れのなかった施設・団体は「よかった」2件、「どちらともいえない」「あまりよくなかった」13件で理由は「参加者がいなかった」「問い合わせがなかった」ため。

1) 参加者の感想・意見（原文まま）※一部抜粋

- ・身を持って学び、知見が広がったように感じた。
- ・初めての参加でしたが、アットホームな雰囲気ですぐに馴染み最後まで楽しくお手伝いできました。
- ・デイサービスのボランティアでした。とても丁寧に仕事内容を教えてもらいました。どうしてこの仕事があるのか必要なのか説明があり、すごく納得しました。
- ・自分にとってとても貴重な体験が出来たため。
- ・初めての体験でしたが、小学生のみんなと一緒に楽しく過ごせました。色々と学ぶ事ができました。
- ・楽しかったから。
- ・たくさんの人とふれあえた。
- ・はじめて高齢者施設のボランティアに参加しましたが、皆さんとても優しくしてくださって貴重な経験になりました。

2) 参加者 今後の活動について（複数回答有）

来年度もボランティアチャレンジを通じてボランティア活動に参加したい	6人(67%)
これからも積極的にいろいろなボランティア活動をしたい	6人(67%)
チャレンジをした施設・団体に、ときどきボランティアに行きたい	6人(67%)
チャレンジをした施設・団体で、これからも継続してボランティアをしたい	1人(11%)
特になし	0人(0%)
その他	0人(0%)

3) チャレンジ受入施設・団体の感想・意見（原文まま）※一部抜粋

受入のあった施設・団体

- ・若い人と地区の人との交流で雰囲気もよくなる。
- ・子ども達の夏休みの宿題をみるボランティアに来てもらい、子ども達に優しく寄り添ってくれたおかげで安心して宿題に取り組めた事、またボランティアの学生さんもいきいきといい表情で楽しかったとボランティアを終えていただけた事が、とってもありがたかったです。
- ・若いボランティアスタッフがいないので、今回の受け入れは大学生との関わりが新鮮で子どもも喜んでくれて良い経験になったと思う。子供たちも若い人が好きだと思うので。
- ・予想していない層からの申し出で嬉しかった。（専門学校生）
- ・若い方に参加していただいて介護について学んでいただけた。
- ・当事業所の事を知っていただける機会になったこと。

受入のなかった施設・団体

- ・体験者の応募はなかったのですが、またチャレンジして体験者が来てくれるとありがたいと思った。
- ・途中からの募集だったため参加者なしは想定していた。次の課題も見え、施設の存在が Web 上で少しでも知っていただけたと思うのでそれが収穫だった。

4) チャレンジ受入施設・団体 今後のご協力について

①ぜひ協力したい	14人(56%)
②条件が合えば協力したい	10人(40%)
③検討したい	1人(4%)
④協力は難しい	0人(0%)